

「中堅・中小企業海外安全対策ネットワーク」第3回本会合
佐藤外務副大臣挨拶

(冒頭)

本日はご多用の折、「中堅・中小企業海外安全対策ネットワーク」第3回本会合にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

このネットワークは、今から2年前、7名もの尊い日本人の命が失われたダッカ襲撃テロ事件を教訓に、立ち上げられました。このような悲劇を繰り返さないために、皆様のご協力の下、企業関係者が直面する課題や問題を把握しながら、如何なる情報を、如何にして海外で事業展開する企業関係者に伝えていくことができるか、真剣に議論してきました。

海外進出企業の数は一層増え、過去最多を更新しています。これらの企業が海外で成功を収めるためには、事業に専念できる環境が不可欠です。そして、安全対策はその基盤をなすものです。いまや、29もの組織がこの考えに賛同し、安全対策に資する取り組みを進めておられることを大変心強く思います。

しかしながら、安全対策に終わりはありません。海外に渡航する社員一人一人が、変化する情勢に合わせて常に最新の情報を入手し、安全対策を自分の問題としてとらえ、徹底する必要があります。様々な形で海外に渡航する企業関係者と接点を有する我々には、こうした環境を作り出すための不断の努力が求められていると考えます。

(外務省の取組)

外務省では、この2年間、企業関係者の海外安全対策強化に特に力を入れて取り組んできています。皆様のご協力も得て作成した「ゴルゴ13の海外安全対策マニュアル」がその代表的コンテンツです。また、海外安全情報の質の向上にも取り組んできました。

しかし、このマニュアルも、海外安全情報も、実際に海外に行く日本人に届かなければ意味がありません。例えば、海外安全情報配信サービス「たびレジ」は、運用開始から5年目を迎えました。累計登録者数は370万人ですが、年間渡航者1800万人を考えると、一層の登録促進が必要です。

そこで、ゴルゴ13のマニュアルは電子版と単行本による展開に加え、本年4月からは動画版を順次公開してきました。このゴルゴ13とのコラボに始まり、舘ひろし氏の声優起用、ケンドーコバヤシ氏への「夏休み『たびレジ』登録推進書記官」委嘱など、いずれも前例のない取組を行いました。すべては、海外安全対策に関心を持っていただき、また真剣に向き合っていただくためです。今後とも新たな施策を打ち出していく予定ですので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

(結語)

ダッカ襲撃テロ事件後、幸いなことに邦人が犠牲となるテロ事件は発生していません。しかし、必ずしも世界が安全になっているためにテロの被害者が出ていないのではありません。実際、ダッカ事件後に各地で発生したテロ事件では、現場のすぐ近くに日本人がいたとの報告を複数受けています。本日、ここにお集まりの皆様が毎日必死に汗を流されて、何とかこの状況を維持できているのだと思います。

また、残念ながら、海外における日本人の一般犯罪の被害報告は後を絶ちません。海外では常に危険と隣り合わせの状況といっても過言ではなく、こういった認識や危機感を世の中に訴えかけていくことも、このネットワークの重要な役割の一つだと考えます。

最後になりますが、このネットワークにおける議論が、皆様の今後の安全対策分野における活動の一助になることを願ってやみません。今次会合へのご出席に改めて感謝申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。

(了)